

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		昨年の家族アンケートで「外部評価を見た事がない」と指摘を受け改善取り組みをしていた。しかし、今回も同じく見た事がないと言う回答であった。	外部評価を面会時に見てもらう。	①外部評価の表紙に分かりやすい言葉で標記、読んだら、確認サインができるようにする。 ②面会時「これが毎年行われている外部評価の結果です。見てください」と一言添えてお願いする。	10ヶ月
2	2 18	法人内での交流は行っているが、介護が重度化して、近隣住民との交流が限られている。ボランティアも行事の時だけである。その為、職員だけと過ごす時間が長くマンネリ化している。	年間を通じ、ボランティアを受け入れて、全員の入居者に笑顔や楽しみができるように支援する。	①平戸中学校と北部公民館にボランティア受入れ依頼のPRをする。 ②個別、団体共に受入れる。面会簿に記載して頂き、時間や内容要望は行わない(負担にならないようにする)	10ヶ月
3	36 37	一人ひとりの人格を尊重して、入居者の思いや希望をくみ取った言葉掛けや対応の配慮が足りない事がある。	入居者が安心、信頼できる関係を深める。	①敬語や思いやりのある言葉で声かけや対話をする。 ②トイレ誘導や失敗は、大声で言わない。 ③自己決定や希望をくみ取る声かけをする。	10ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。